2021 年度　事業報告

自　2021 年 4 月 1 日
至　2022 年 3 月 31 日

1. 文化・芸術に関する資料の収集・保存および展示

1、NISSHA 印刷歴史館　展示物の一般公開

実施年月日	団体での主な見学者
2021 年 7 月 14 日	毎日文化センター 9 名
7 月 26 日	門真市民生委員児童委員協議会 5 名
9 月 28 日	日本デザイン書道協会 6 名
10 月 1 日	毎日文化センター 21 名
10 月 22 日	毎日文化センター 12 名
11 月 13 日	関西文化の日協賛 48 名
11 月 14 日	関西文化の日協賛 43 名
11 月 16 日	京都華頂大学卒論ゼミＧ　11 名
11 月 16 日	京都華頂大学室内デザインＧ　9 名
11 月 26 日	イノベーション・知財新団体 6 名
12 月 6 日	京都工芸繊維大学ゼミ生 11 名
12 月 6 日～10 日	特別見学会（昼・夕 2 回）のべ 236 名
2022 年 1 月 18 日	京都ジョブパーク 11 名
1 月 25 日	京都ジョブパーク 8 名
	小計 436 名
	その他、個人での見学希望者 98 名
	合計 534 名（3 月末現在）

・今年度も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、閉館期間が長期、複数回におよび、自粛解除期間のみ感染防止に万全を期しながら一般公開を実施した。なかでも例年協賛している「関西文化の日」には今年も多数の来館者があった。また特に団体での来館者には可能な限り分散での見学をお願いし、協力いただいた。

2、文化・芸術に関する書籍、道具、機械等の収集と一元的管理を引き続き実施

・今年度は基本財産に組入れるべき美術品、稀覯本等の購入実績はなかった。

・第 1 展示室のグーテンベルク印刷機、石版印刷機、ハイデル活版印刷機の金属部分に錆の発生が見られたため、はじめて本格的な補修作業を行った。

2. 文化・芸術の振興を目的とした活動および助成・支援

1、講座の開催

(1) 文化セミナー　ワークショップ

開催実績なし

(2) 文化イベント

開催実績なし

2、助成事業

① 京都市京セラ美術館開館 1 周年記念展「モダン建築の京都展」

＊主催　モダン建築の京都展実行委員会

＊期間　2021 年 9 月 25 日（土）～12 月 26 日（日）

＊会場　京都市京セラ美術館　新館「東山キューブ」

＊内容　京都には明治から大正、昭和にかけて建てられた洋風建築や近代和風建築、モダニズム建築など、いわゆる「モダン建築」が震災や戦災による被害が少なかったこともあって数多く残っている。その中で今回、商業施設における西洋建築の数少ない遺構として NISSHA 本館がモダン建築 100 のひとつに選ばれ、展覧会オフィシャルブックに掲載された。

② 第 6 回「筆文字で伝えたいことば大賞 2021」

＊主催　一般社団法人日本デザイン書道作家協会

＊応募期間　2021年 6 月 20 日～9 月 15 日

＊表彰　2021 年 11 月 7 日（日）　会場　銀座 THE GRAND GALLERY

＊内容　筆文字だからこそ伝わる言葉、伝えたい言葉を、自由な発想で表現することを目的に開催。学生の部（小・中・高校生）と一般の部（18 歳以上）に分け、それぞれ大賞を含む入賞 13 作品が表彰された。例年通り、当財団賞として両部門に賞状および副賞を授与した。今年度は 2,127 点の作品が寄せられ、全国の学校や書道関係者から高い関心を集めるコンペティションになっている。

③ 「KYOTO STEAM2022 国際アートコンペティション」

＊主催　KYOTO STEAM−世界文化交流祭−実行委員会

＊期間　2022 年 1 月 29 日（金）～2 月 13 日（日）

＊会場　京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ

＊内容　KYOTO STEAM－世界文化交流祭－は「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマに、文化芸術の新たな可能性と価値を世界に問う、新しい形態の国際的な文化・芸術の祭典で、前年の 12 月から京都岡崎地域を中心に、展覧会、公演、トーク、ワークショップなど様々な形での発表が始まり、そのコアプログラムとして本コンペティションが開催された。公募にエントリーした 41 件の企業等と 111 件の作品プランの中から、有識者による審査会によって選抜された 11 組のアーティストと、企業・研究機関がコラボレーションして制作した作品が展示され、3 作品が表彰された。

財団はゴールドパートナーとして助成するとともに、AMeeT での紹介や出展作品別の会場用フリーペーパーの作成・発行で寄与した。

④ 第 24 回「京都国際学生映画祭」

＊主催　公益財団法人大学コンソーシアム京都

＊期間　2022 年 2 月 11 日（金）～2 月 13 日（日）

＊会場　京都文化博物館フィルムシアター

＊内容　京都を中心とする関西圏の学生が主体となって企画・運営を行う日本最大の国際学生映画祭。世界各国の学生が制作した自主映画を世界各地より募集・審査をし、作品を上映するコンペティションプログラムを中心とした映画祭で、今年は国内外 30 の国と地域から 336 作品の応募があり、入選した 16 作品が京都文化博物館フィルムシアターで上映された。

⑤ 第 5 回「ARTISTS’ FAIR KYOTO2022」

＊主催　ARTISTS’ FAIR KYOTO 実行委員会

＊事務局　京都府文化スポーツ部文化芸術振興課

＊期間　2022 年 3 月 3 日(木)～3 月 6 日(日)
＊会場　京都文化博物館別館
京都新聞ビル地下 1 階 印刷工場跡
＊内容　新進若手アーティストが企画から出品および販売まで行う、これまでのアートフェアの枠組みを超えたイベントで、2018 年に始まり今回が 5 回目の開催。世界のマーケットを見据え、次の次元へと活躍の場を拡大する国内外の旬なアーティスト 17 名と、彼らが選ぶ注目の新進若手アーティスト 46 名が出品した。
なお今回は新たな企画として、清水寺を会場にアドバイザリーボード 14 組の初の展覧会も開催された。

⑥ NPO 法人史料データ保存ネットワーク
＊京都を中心に活動する特定非営利活動法人で、社会に埋もれ捨てられていく無数の「古文書」や「古美術品」を調査・解読し、次世代に残すために保存、書籍化および人材育成に努めている。

3. その他情報発信事業

1、財団ホームページの運用・管理
設立主旨、目的、財務内容および事業活動などの財団情報を公開。全面リニューアルを行い、英文表記も併せて公開している。

期　間	アクセス数
2009 年度	1,825 件
2010 年度	1,976 件
2011 年度	1,845 件
2012 年度	1,761 件
2013 年度	1,858 件
2014 年度	3,715 件
2015 年度	4,123 件
2016 年度	3,622 件
2017 年度	2,684 件

2018 年度	3,680 件
2019 年度	3,626 件
2020 年度	3,551 件
2021 年度	5,513 件

（3 月末現在）

2、 Web マガジン「AMeeT－Art Meets Technology 」の運用・管理

財団公益事業の一環として、「アート・文化財とテクノロジーを結ぶサイト」をコンセプトに、コラム・イベント案内・デジタルアーカイブなどを隔月で更新、リリース。

期　間	アクセス数
2009 年度	5,750 件
2010 年度	28,731 件
2011 年度	35,685 件
2012 年度	40,797 件
2013 年度	41,894 件
2014 年度	44,091 件
2015 年度	38,661 件
2016 年度	45,101 件
2017 年度	41,198 件
2018 年度	53,242 件
2019 年度	51,457 件
2020 年度	66,888 件
2021 年度	55,300 件

（3 月末現在）

3、その他トピックス

＊当財団設立者、故鈴木正三氏ご令室で、鈴木順也理事長ご母堂の鈴木久枝様ご逝去に伴い、鈴木興産株式会社の株式 6,247 株が今年度 8 月に寄附（遺贈）され、基本財産に繰り入れられた。

＊当財団が京都市から大変名誉ある「令和 3 年度京都市芸術振興賞」を受賞した。受賞理由として、NISSHA 印刷歴史館の管理・運営、Web マガジン「AMeeT」の発行、「PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ」の主催、定期的ワークショップの開催、多くの文化イベント等への助成などの事業活動が、京都における文化・芸術の振興に大きく貢献していると評価された。

同賞は昭和 50 年度に創設され、京都市出身者または市内において活発な文化芸術活動を行い、新人の育成または芸術に係る活動環境の向上に多大の功労があった個人・団体の功績を称えるもので、今回は当財団と 8 人の方々が受賞。
同じく将来を嘱望される方々10 人が「京都市芸術新人賞」を受賞している。
1 月 21 日に行われた京都市京セラ美術館本館光の広間での表彰式において、門川市長から表彰状と副賞が当財団鈴木理事長に授与された。

＊財団公式YouTubeの運用を開始した。
アーティストの作品作りや音楽制作の際のヒントになるような動画を提供することで、幅広い年代、特に子供を含めた若年層に文化・芸術への関心を高め、きっかけの提起と支援を目的として立ち上げたもので、AMeeT を中心とした財団活動の認知拡大にも寄与している。本年度 6 月から、社外のユニークなアーティストに協力を得て配信を始め、月に 2 本のペースで公開している。また財団コンテンツを使った動画制作も順次準備中である。

＊毎日新聞朝刊に NISSHA 印刷歴史館が紹介された。
3 月 2 日の毎日新聞朝刊に「文字の歴史　人類の歩み」のタイトルで、NISSHA 印刷歴史館が大きく取り上げられ、館内の展示品が写真入りで詳細に紹介された。

＊PATinKyoto 第 3 回京都版画トリエンナーレ開催に向け準備を進めた。
2013 年の第 1 回開催から全面的支援を行い、2016 年の第 2 回から主催者の立場で企画・運営に携わっている PATinKyoto 京都版画トリエンナーレの第 3 回が、いよいよ本年 4 月 12 日から京都市京セラ美術館で始まるに伴い、推進委員会、実行委員会メンバーとしてこの間準備を進めてきた。今回も NISSHA 財団賞を設けて優秀作品を表彰するとともに、大賞作品は京都市に寄贈する予定である。

正味財産増減計算書　予算対比

自 2021年4月1日　　至 2022年3月31日

（円）

	科　目	決 算	予 算	差 額
1	Ⅰ　一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	経 常 収 益			
4	基本財産運用益			
5	基本財産受取配当金	10,558,111	8,017,000	2,541,111
6	事業収益			
7	体験活動参加費	0	100,000	▲ 100,000
8	受取寄附金			
9	受取寄附金	50,000,000	50,000,000	0
10	雑収益			
11	受取利息	556,892	600,000	▲ 43,108
12	雑収益	100,000	0	100,000
13	経　常　収　益　計	61,215,003	58,717,000	2,498,003
14	経 常 費 用			
15	事 業 費			
16	収集･保存･展示	1,444,850	5,000,000	▲ 3,555,150
17	振興･助成･支援	13,695,940	17,000,000	▲ 3,304,060
18	その他情報発信事業費	11,081,545	4,500,000	6,581,545
19	給与手当	6,062,803	6,080,000	▲ 17,197
20	旅費交通費	260,837	160,000	100,837
21	通信費	18,527	48,000	▲ 29,473
22	減価償却費	1,478,868	1,410,000	68,868
23	賃借料	118,800	176,000	▲ 57,200
24	事　業　費　計	34,162,170	34,374,000	▲ 211,830
25	管 理 費			
26	会議費	60,890	300,000	▲ 239,110
27	事務用品費	359,464	400,000	▲ 40,536
28	諸会費	33,000	33,000	0
29	給与手当	1,516,950	1,520,000	▲ 3,050
30	旅費交通費	65,209	40,000	25,209
31	通信費	4,631	12,000	▲ 7,369
32	減価償却費	369,717	360,000	9,717
33	賃借料	29,700	44,000	▲ 14,300
34	雑費	690,726	1,000,000	▲ 309,274
35	管　理　費　計	3,130,287	3,709,000	▲ 578,713
36	経　常　費　用　計	37,292,457	38,083,000	▲ 790,543
37	評価損益等調整前当期経常増減額	23,922,546	20,634,000	3,288,546
38	投資有価証券評価損益等	▲ 586,614	0	▲ 586,614
39	当 期 経 常 増 減 額	23,335,932	20,634,000	2,701,932
40	2. 経常外増減の部			
41	経常外収益			
42	経　常　外　収　益　計	0	0	0
43	経常外費用			
44	経　常　外　費　用　計	0	0	0
45	当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
46	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	23,335,932	20,634,000	2,701,932
47	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	310,161,372	310,817,209	▲ 655,837
48	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	333,497,304	331,451,209	2,046,095
49				
50	Ⅱ　指定正味財産増減の部			
51	投資有価証券受贈益			
52	投資有価証券受贈益	871,356,548		871,356,548
53	基本財産評価益			
54	投資有価証券評価益	24,900,000	0	24,900,000
55	当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	896,256,548	0	24,900,000
56	指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	738,870,403	543,270,403	195,600,000
57	指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	1,635,126,951	543,270,403	1,091,856,548
58				
59	Ⅲ　正味財産期末残高	1,968,624,255	874,721,612	1,093,902,643

正味財産増減計算書　前年対比

自 2021年4月1日　至 2022年3月31日

（円）

	科　目	当年度	前年度	増　減
1	**Ⅰ　一般正味財産増減の部**			
2	1. 経常増減の部			
3	経 常 収 益			
4	基本財産運用益			
5	基本財産受取配当金	10,558,111	8,017,561	2,540,550
6	受取寄附金			
7	受取寄附金	50,000,000	50,000,000	0
8	雑収益			
9	受取利息	556,892	566,093	▲ 9,201
10	雑収益	100,000	0	100,000
11	経　常　収　益　計	61,215,003	58,583,654	2,631,349
12	経 常 費 用			
13	事 業 費			
14	収集･保存･展示	1,444,850	1,008,150	436,700
15	振興･助成･支援	13,695,940	2,130,000	11,565,940
16	その他情報発信事業費	11,081,545	3,520,875	7,560,670
17	給与手当	6,062,803	6,794,208	▲ 731,405
18	旅費交通費	260,837	93,236	167,601
19	通信費	18,527	29,284	▲ 10,757
20	減価償却費	1,478,868	1,792,213	▲ 313,345
21	賃借料	118,800	140,800	▲ 22,000
22	事　業　費　計	34,162,170	15,508,766	18,653,404
23	管 理 費			
24	会議費	60,890	183,329	▲ 122,439
25	事務用品費	359,464	149,441	210,023
26	諸会費	33,000	33,000	0
27	給与手当	1,516,950	1,698,551	▲ 181,601
28	旅費交通費	65,209	23,309	41,900
29	通信費	4,631	7,320	▲ 2,689
30	減価償却費	369,717	448,053	▲ 78,336
31	賃借料	29,700	35,200	▲ 5,500
32	雑費	690,726	632,523	58,203
33	管　理　費　計	3,130,287	3,210,726	▲ 80,439
34	経　常　費　用　計	37,292,457	18,719,492	18,572,965
35	評価損益等調整前当期経常増減額	23,922,546	39,864,162	▲ 15,941,616
36	投資有価証券評価損益等	▲ 586,614	▲ 523,559	▲ 63,055
37	当 期 経 常 増 減 額	23,335,932	39,340,603	▲ 16,004,671
38	2. 経常外増減の部			
39	経常外収益			
40	経　常　外　収　益　計	0	0	0
41	経常外費用			
42	経　常　外　費　用　計	0	0	0
43	当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
44	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	23,335,932	39,340,603	▲ 16,004,671
45	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	310,161,372	270,820,769	39,340,603
46	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	333,497,304	310,161,372	23,335,932
47				
48	**Ⅱ　指定正味財産増減の部**			
49	投資有価証券受贈益			
50	投資有価証券受贈益	871,356,548		871,356,548
51	基本財産評価益			
52	投資有価証券評価益	24,900,000	195,600,000	▲ 170,700,000
53	当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	896,256,548	195,600,000	▲ 170,700,000
54	指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	738,870,403	543,270,403	195,600,000
55	指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	1,635,126,951	738,870,403	896,256,548
56				
57	**Ⅲ　正味財産期末残高**	1,968,624,255	1,049,031,775	919,592,480

貸借対照表

2022年3月31日　現在

（円）

	科　　目	当年度	前年度	増　減
1	Ⅰ 資　産　の　部			
2	1. 流 動 資 産			
3	現　金　預　金	254,572,013	229,729,945	24,842,068
4	みずほ 普通預金	34,572,013	29,729,945	4,842,068
5	みずほ 定期預金	220,000,000	200,000,000	20,000,000
6	流 動 資 産 合 計	254,572,013	229,729,945	24,842,068
7				
8	2. 固 定 資 産			
9	基　本　財　産			
10	投資有価証券	1,581,745,208	685,488,660	896,256,548
11	メモリアル品	53,381,743	53,381,743	0
12	美　術　品	35,127,000	35,127,000	0
13	基 本 財 産 合 計	1,670,253,951	773,997,403	896,256,548
14	その他固定資産			
15	備　　品	7,307,206	8,226,258	▲ 919,052
16	投資有価証券	36,616,295	37,202,909	▲ 586,614
17	その他固定資産合計	43,923,501	45,429,167	▲ 1,505,666
18	固 定 資 産 合 計	1,714,177,452	819,426,570	894,750,882
19	資　産　合　計	1,968,749,465	1,049,156,515	919,592,950
20				
21				
22	Ⅱ 負　債　の　部			
23	1. 流 動 負 債			
24	預　り　金	125,210	124,740	470
25	流 動 負 債 合 計	125,210	124,740	470
26	負　債　合　計	125,210	124,740	470
27				
28				
29	Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
30	1. 指定正味財産			
31	受贈投資有価証券	1,581,745,208	685,488,660	896,256,548
32	受贈メモリアル品	53,381,743	53,381,743	0
33	指 定 正 味 財 産 合 計	1,635,126,951	738,870,403	896,256,548
34	（うち基本財産への充当額）	(1,635,126,951)	(738,870,403)	896,256,548
35				
36	2. 一般正味財産	333,497,304	310,161,372	23,335,932
37	（うち基本財産への充当額）	(35,127,000)	(35,127,000)	0
38	正 味 財 産 合 計	1,968,624,255	1,049,031,775	919,592,480
39	負債及び正味財産合計	1,968,749,465	1,049,156,515	919,592,950

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

・満期保有目的の債券は、購入時の取得価額によっている。

・満期保有目的の債券並びに子会社及び関連会社株式以外の有価証券

時価のあるもの‥‥期末日の市場価格に基づく時価法によっている。

時価のないもの‥‥移動平均法による原価法によっている。

(2)固定資産の減価償却の方法

備品について法人税法の規定による定率法によっている。

(3)消費税等の会計処理

税込経理によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (円)

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	685,488,660	896,256,548	0	1,581,745,208
メモリアル品	53,381,743	0	0	53,381,743
美術品	35,127,000	0	0	35,127,000
合　計	773,997,403	896,256,548	0	1,670,253,951

・投資有価証券の当期増加額896,256,548円は、寄附による鈴木興産株式の受入れ及びNISSHA株式30万株を期末日(3/31)の東証1部終値(1株1,453円)で評価したことによる評価益である。

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (円)

科　目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
投資有価証券	1,581,745,208	1,581,745,208	0	0
メモリアル品	53,381,743	53,381,743	0	0
美術品	35,127,000	0	35,127,000	0
合　計	1,670,253,951	1,635,126,951	35,127,000	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
メモリアル品	53,381,743	0	53,381,743
美術品	35,127,000	0	35,127,000
備品	14,689,902	7,382,696	7,307,206
ソフトウェア	3,150,000	3,150,000	0
合　　計	106,348,645	10,532,696	95,815,949

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
社債			
みずほフィナンシャル			
グループ無担保社債	20,000,000	19,926,000	▲ 74,000
合　　計	20,000,000	19,926,000	▲ 74,000

附属明細書

1. 基本財産の明細

計算書類に対する注記2のとおり

2. 引当金の明細

該当なし

財産目録

2022年3月31日　現在

（円）

	貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
1	流動資産			
2	現　金　預　金			
3	普　通　預　金	みずほ／京都中央	事業資金	34,572,013
4	定　期　預　金	〃	〃	220,000,000
5	流動資産合計			254,572,013
6	固定資産			
7	基　本　財　産			
8	投資有価証券	NISSHA株式　30万株		435,900,000
9		日晶産業株式　3,980株		274,488,660
10		鈴木興産株式　6,247株		871,356,548
11				(1,581,745,208)
12	メモリアル品	骨董印刷機他　30点		53,381,743
13				(53,381,743)
14	美　術　品	ダンテ著作集		14,000,000
15		欽定英訳聖書		3,000,000
16		ﾍﾟｲﾙ原書「英文典初歩」		700,000
17		ウル第3王朝時代の粘土板		650,000
18		杉田玄白他訳「解体新書」 2冊		2,850,000
19		「京名所案内道法略記」 版木3枚		580,000
20		ｸﾞｰﾃﾝﾍﾞﾙｸ印行「42行聖書」零葉 第121葉		9,500,000
21		「浮世絵印刷の過程」大型本 明治44年刊		1,390,000
22		ゼネフィルター「12の風景画」		1,260,000
23		ジャン・レベデフ 版木11点 刷見本付		680,000
24		徳力富吉郎画「京洛三十題」全30枚		275,000
25		「ｵｰ・ｱﾙｸﾊﾞｽ」ﾗﾍﾞﾙ印刷用石版		242,000
26				(35,127,000)
27	その他固定資産			
28	投資有価証券	ダイワ日本国債ファンド		16,616,295
29		みずほﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ無担保社債		20,000,000
30				(36,616,295)
31	備　品	Pham Luan 絵画「二重橋」		729,000
32		「二重橋」額代		40,698
33		ミニー吉野　絵画「繁栄と衰退」		729,000
34		「繁栄と衰退」額代		48,225
35		展示ケース　ガラス製		97,960
36		Akiha Yamakami 絵画 4枚		298,752
37		Go Sugimoto 写真 6枚		831,288
38		映像音声資料 デジタル化		206,719
39		ミニー吉野　油絵「創造性の継承」		437,400
40		「創造性の継承」額代		77,202
41		自動プラテン T型 印刷機(OH機)		2,233,956
42		吉野祥江 油彩画「Presperity-Today」		146,181
43		ﾐﾆｰ吉野　油絵「IMAGINATION CREATES THE WORLD」		449,550

44		YASIORIｲﾗｽﾄ制作 原画2点		110,860
45		御即位記念地図		34,376
46		ワイヤレスガイドシステム		647,248
47		展示用iPad		91,111
48		石板スタンド		97,680
49				(7,307,206)
50	固 定 資 産 合 計			1,714,177,452
51	資　産　合　計			1,968,749,465
52	流動負債			
53	預　り　金	源泉所得税		125,210
54	負　債　合　計			125,210
55	正　味　財　産			1,968,624,255

以上、当財団の財産目録に相違ありません。

2022年 5月 2日

一般財団法人NISSHA財団

理事長　鈴　木　順　也